

## 屋久島町山海留学Q & A

実施委員会・・・児童の受入れを実際に行う各校区（5校区）の委員会を言います。

- (1)かめんこ留学実施委員会・・・永田小学校区（永田集落）
- (2)まんてん留学実施委員会・・・栗生小学校区（栗生集落・中間集落）
- (3)じょうもん留学実施委員会・・・八幡小学校区（湯泊集落・平内集落・小島集落）
- (4)屋久島黒潮留学実行委員会・・・一湊小学校区（一湊集落・志戸子集落・吉田集落）
- (5) 口永良部教育振興推進協議会・・・金岳小・中学校区（口永良部島）

Q 1 屋久島町山海留学制度とは？

A 1 この制度は、町内の小中学校に転入を希望する児童生徒に対し、屋久島町が関係校区の留学制度実施委員会の協力を得て受け入れを実施し、屋久島及び口永良部島における様々な体験活動をとおして心身ともに健康な児童生徒の育成、併せて学校や地域の活性化を図ることを目的とした制度です。（中学生の受け入れは口永良部島のみです。）

Q 2 家族留学と里親留学（口永良部島のみ）の違いは？

A 2 家族留学は、保護者と子どもが屋久島で一緒に生活をして留学生活を送ることで、里親留学は、口永良部島に子どもだけを留学させ、里親の家で留学生活を送ることで、

Q 3 孫戻し留学って何ですか？

A 3 一部の留学制度において、「孫戻し留学」を募集しています。これは、留學生の祖父母が留学実施校区に居住しており、その祖父母が里親となる留学形態となります。町の支援については里親留学と同じ扱いとなります。（Q 4 参照）

Q 4 町の支援はどのようなものですか？

A 4 家族留学の場合は、校区実施委員会をとおして町から一人あたり月額3万円の補助が出ます。（第2子以降は、一人あたり月額1万円の補助となります。）

里親留学（孫戻し留学）の場合は、実親は里親に対して月額7万円の委託金を支払わなければなりません。そのうち、校区実施委員会をとおして月額3万円を町が補助しますので、実親の実質的な負担は月額4万円となります。（学費、給食費などの生活費は実親負担です。）

Q 5 何年生から受け入れてもらえるのですか？

A 5 原則として小学1年生から6年生までを受入れることとしています。ただし、口永良部島では中学3年生までを対象としています。

Q 6 各留学制度に定員はありますか？

A 6 定員については以下のとおりですのでご確認ください。

- (1) かめんこ留学実施委員会 …… 家族留学のみ（若干名）
- (2) まんてん留学実施委員会 …… 家族留学・孫戻し留学（若干名）
- (3) じょうもん留学実施委員会 …… 家族留学・孫戻し留学（若干名）
- (4) 屋久島黒潮留学実施委員会 …… 家族留学のみ（若干名）
- (5) 口永良部島教育振興推進協議会 …… 家族留学・里親留学・孫戻し留学（若干名）

Q7 留学決定は、どのような手順となりますか？

A7 8月1日から10月末日を第1次募集期間としています。その期間に申込みがあった方については、11月中旬に面談を行った後、採否の決定を行い、12月中旬に採否の通知をいたします。なお、定員に達しなかった場合のみ、翌年1月末日を期限として第2次募集として受け付けます。第2次の場合も面談を行った上で採否の決定を行います。

※南海ひょうたん島留学の一次募集は11月末日までのため、別扱いとなります。

Q8 留学先（校区）はどのように決定されますか？

A8 申込書に希望順位を記載いただきますので、その順位を参考に決定いたします。なお、地域や学校の事情のため、下位順位の校区への留学をお願いする場合があります。

Q9 留学を実施している学校の児童数は？

A9 児童数は以下のとおりです。

令和元年5月31日現在

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
永田小	1人	2人	4人	1人	2人	5人	15人
栗生小	3人	6人	6人	2人	7人	6人	30人
八幡小	11人	6人	13人	14人	7人	5人	56人
一湊小	4人	7人	2人	7人	6人	5人	31人
金岳小	0人	0人	2人	1人	3人	1人	7人
金岳中	1人	1人	0人	—	—	—	2人

Q10 留学中はどのような学校生活等を送っていますか？

A10 各実施委員会とも地域に根ざした活動や催しを行っており、また、各学校とも個別指導や豊かな自然環境を生かした環境教育に力を入れています。詳細は、各学校等のHP等をご覧ください。

Q11 各校区の留学制度は、いつから始まったのですか。また、何名ぐらいを受入れたのですか？

A11 各校区の留学生受入れ年度及び受入れ延べ人数(平成31年度を含む。)は以下のとおりです。

平成31年4月1日現在

留学制度名	受入開始年度	受入者数 (H30含む)
かめんこ留学	平成9年度	239名
まんてん留学	平成15年度	55名
じょうもん留学	平成24年度	20名
屋久島黒潮留学	平成30年度	9名
南海ひょうたん島留学	平成8年度	89名

Q12 家族留学をしたいのですが、家はどのように探せばよいですか？

A12 家族留学をする場合の住居は、各校区の実施委員会が手配することとしています。しかし、必ず手配できるわけではないため、住居がない場合などは他の留学制度に替わっていただく場合があります。また、住居に係る契約については、留学する家族と持ち主の間で行っていただきます。

Q13 車は必要ですか？

A13 もし、免許をお持ちでしたら車は必需品です。

Q14 近くに医療機関はありますか？

A14 永田集落、栗生集落、口永良部島には診療所があります。集落内に診療所等がなくても車で少し移動すると医療機関があります。(口永良部島診療所については常駐ではありません。)

Q15 屋久島町における児童の医療費助成について教えてください。

A15 屋久島町においては、乳幼児等医療費助成制度がありますが、里親留学については対象外となります。なお、家族留学については対象となる場合もありますので、詳細についてはお問い合わせください。

乳幼児等医療費助成制度の対象外であっても通常の健康保険証の負担割合で受診することはできます。

